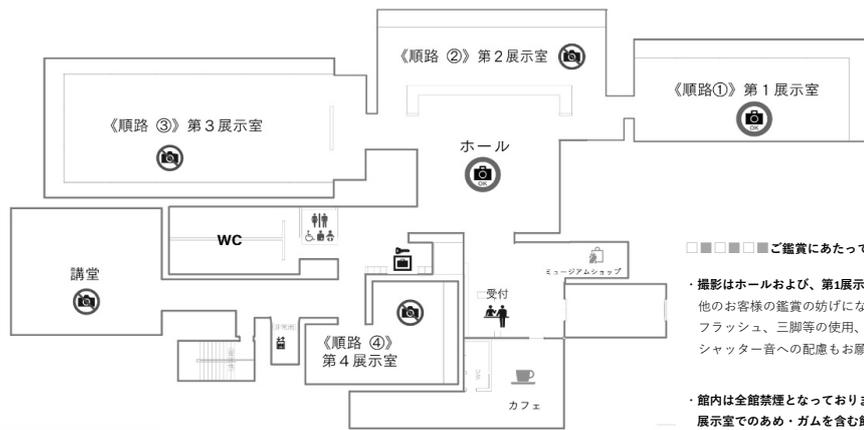


な く と う  
か ら も る  
の し に し  
漆 ⑨ と  
芸 美



■ 撮影にあたってのお願い ■

・撮影はホールおよび、第1展示室内のみ可能です。  
他のお客様の鑑賞の妨げにならないよう、フラッシュ、三脚等の使用、動画撮影はご遠慮下さい。シャッター音への配慮もお願いします。

・館内は全館禁煙となっております。  
展示室でのあめ・ガムを含む飲食はご遠慮ください。水分補給はロッカー前の小ホールにてお願いします。

・ホール、小ホールも含め、館内での会話はお控えくださいますようお願いいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます

[同時開催] 受贈記念 伊万里・染付大皿の美

2024.1.20 SAT - 2.25 SUN

【出展目録】

No.	作品名	作品 (よみ)	作者名	製作年	所蔵
【第一展示室】シーン1 宴のなかの漆芸美					
1	唐草文梨子地蒔絵提重	からくさもんなしじまきえさげじゅう		明治時代 19世紀	泉屋博古館東京
2	扇面謡曲画蒔絵会席膳椀具から丸盆	せんめんようきょくがまきえ かいせきぜんわんぐからまるぼん	象彦(八代 西村彦兵衛) ぞうひこ (はちだいにしむらひこべえ)	大正時代 20世紀	泉屋博古館
3	扇面謡曲画蒔絵会席膳椀具	せんめんようきょくがまきえかいせきぜんわんぐ	象彦(八代 西村彦兵衛) ぞうひこ (はちだいにしむらひこべえ)	大正時代 20世紀	泉屋博古館
4	花鳥文蛸色蒔絵会席膳椀具	かちょうもんろいろまきえかいせきぜんわんぐ	東門五兵衛 とうもんごへえ	明治時代 19世紀	泉屋博古館
5	長寛好獅子唐草文箔絵会席膳椀具	ちょうかんごのみししからくさもんはくえ かいせきぜんわんぐ	象彦(八代 西村彦兵衛) ぞうひこ (はちだいにしむらひこべえ)	大正9年(1920)	泉屋博古館
6	楼閣山水図箔絵籐縁盆	ろうかくさんすいずはくえとうふちぼん		琉球時代 18-19世紀	泉屋博古館
7	京名所黒蒔絵食膳	きょうめいしよくろまきえしよくぜん	下絵：幸野樺嶺ら こうのばいれい(ら)	明治時代 19-20世紀	泉屋博古館
8	草花文葦手蒔絵盃	そうかもんあしでまきえはい		江戸時代 17-18世紀	泉屋博古館
【第二展示室】シーン2 茶会のなかの漆芸美 / シーン3 香りのなかの漆芸美 / シーン4 檜舞台のうえの漆芸美					
9	青貝芦葉達磨香合添状	あおがいりょうだるまこうごうそえじょう	千宗旦 せんこのうたん	江戸時代 17世紀	泉屋博古館東京
10	青貝芦葉達磨香合	あおがいりょうだるまこうごう		明時代 16世紀	泉屋博古館東京
11	朱塗菱形十字花卉盆	しゅぬりひしがたじゅうじかべんぼん		明時代 16世紀	泉屋博古館東京
12	掛羅香合	からこうごう	漆塗：飛来一閑 ひきいっかん 蒔絵：中村宗哲 なかむらそうてつ	江戸時代 18世紀	泉屋博古館東京
13	青貝雅集図茶箱	あおがいしがしゅうずちやばこ		清時代 18世紀	泉屋博古館東京
14	椿蒔絵棗添状	つばきまきえなつめそえじょう	酒井抱一 さかいぼういつ	江戸時代 19世紀	泉屋博古館東京
15	椿蒔絵棗	つばきまきえなつめ	原羊遊齋 はらようゆうさい	江戸時代 19世紀	泉屋博古館東京
16	青貝鶏藤実香合	あおがいとりふじのみこうごう		明時代 17世紀	泉屋博古館東京
17	龍文天川宝珠形香合	りゅうもんあまかわほうじゅがたこうごう		18-19世紀	泉屋博古館東京
18	青貝布袋香合	あおがいぼていこうごう		明時代 17世紀	泉屋博古館東京
19	吉野山蒔絵十種香箱	よしのやままきえじっしゅこうばこ		江戸時代 18-19世紀	泉屋博古館東京
20	藤棚菊蒔絵十種香箱	ふじだなきくまきえじっしゅこうばこ		江戸時代 18-19世紀	泉屋博古館東京
21	武蔵野蒔絵面筆筒	むさしのまきえめんだんす		江戸時代 18世紀	泉屋博古館東京
22	面「狸々」	おもて「しょうじょう」		桃山時代 16世紀	泉屋博古館東京
23	能管 銘「薄雲」	のうかん めい「うすぐも」		江戸時代 17世紀	泉屋博古館東京
24	打出木槌蒔絵大鼓胴	うちでのこづちまきえおおつづみどう		江戸時代 18-19世紀	泉屋博古館東京

No.	作品名	作品（よみ）	作者名	製作年	所蔵
25	青海波桜折枝蒔絵小鼓胴	せいがいはさくらおりえだまきえこつづみどう		江戸時代 18-19世紀	泉屋博古館東京
26	源氏車夕顔蒔絵太鼓胴 銘「玉ノ尾」	げんじぐるまゆうがおまきえたいこどう めい「たまのお」		蒔絵：江戸時代 19世紀 (木胎は江戸時代 17世紀)	泉屋博古館東京
27	朝日波千鳥蒔絵太鼓胴	あさひなみちどりまきえたいこどう		江戸時代 18-19世紀	泉屋博古館東京
28	香包蒔絵小鼓胴	こうづつみまきえこつづみどう		江戸時代 17世紀	泉屋博古館東京
29	雲龍蒔絵大鼓胴	うんりゅうまきえおおつづみどう		江戸時代 18世紀	泉屋博古館東京
30	三つ巴文蒔絵衣桁	みつどもえもんまきえいこう		昭和時代 20世紀	泉屋博古館東京
31	茶地変蜀江菱龍模様厚板	ちゃじかわりしょっこうひしりゅうもようあついた		江戸時代 18世紀	泉屋博古館東京

### 【第三展示室】特集 漆芸の技法—彫漆・螺鈿・蒔絵

32	枝垂桜蒔絵手箱	しだれざくらまきえてばこ	戸嵩光孚 とじまこうふ	大正時代 20世紀	泉屋博古館東京
33	耕作蒔絵茶箱	こうさくまきえちやばこ	日本蒔絵合資会社 にほんまきえごうしがいしゃ	明治時代 19世紀	泉屋博古館東京
34	椿蒔絵月日貝香合	つばまきえつきひがいこうごう		江戸時代 17世紀	泉屋博古館東京
35	軍鶏蒔絵文箱	しゃまきえふばこ	柴田是真 しばたぜしん	江戸時代 19世紀	泉屋博古館東京
36	稲田鶴蒔絵硯箱	いなだつるまきえすずりばこ		江戸時代 17-18世紀	泉屋博古館東京
37	野菜盛籠図蒔絵額 (床の間)	やさいもりかごずまきえがく	池田泰真 いけだたいしん	明治35年(1902頃)	泉屋博古館東京
38	蜻蛉枝垂桜蒔絵香箱 (独立ケース)	とんぼしだれざくらまきえこうばこ		江戸時代 17世紀	泉屋博古館東京
39	楼閣人物図螺鈿円盆	ろうかくじんぶつずらでんえんぼん		明時代 15-16世紀	泉屋博古館東京
40	西廂記図螺鈿円盆	せいしょうきずらでんえんぼん		琉球時代 18-19世紀	泉屋博古館東京
41	双鶴桃図螺鈿印材箱	そうかくとうずらでんいんざいばこ		朝鮮時代 17-18世紀	泉屋博古館東京
42	仙人図螺鈿食籠 (独立ケース)	せんんにんずらでんじきろう		元時代 14世紀	泉屋博古館
43	龍図堆黄円盆	りゅうずついおうえんぼん		明 万暦17年(1589)	泉屋博古館
44	双龍図堆黄長方盆	そうりゅうずついおうちょうほうぼん		明 万暦20年(1592)	泉屋博古館東京
45	竹林高士図紅花緑葉筆管	ちくりんこうしずこうかりよくようひっかん		明～清時代 16-17世紀	泉屋博古館
46	屈輪文堆黒弘子	ぐりもんついこくほっす		清時代 18世紀	泉屋博古館
47	牡丹獅子文鎌倉彫銅鑲掛	ぼたんししもんかまくらぼりどらかけ		明治時代 19世紀	泉屋博古館
48	屈輪文鎌倉彫楕	ぐりもんかまくらぼりばい		明治時代 19世紀	泉屋博古館
49	花唐草文一閑張長方箱	はなからくさまんいっかんばりちようほうはこ		江戸時代 19世紀	泉屋博古館東京
50	楼閣人物図堆朱円盆 (独立ケース)	ろうかくじんぶつずつしゅえんぼん		元時代 14世紀	泉屋博古館

### 【第三展示室】シーン5 書斎のなかの漆芸美

51	唐子図螺鈿長方盆	からこずらでんちようほうぼん		明時代 16-17世紀	泉屋博古館
52	高士図堆朱筆管	こうしずつしゅひっかん		明～清時代 16-17世紀	泉屋博古館
53	楼閣山水図箔絵印材箱	ろうかくさんすいずはくえいんざいばこ		清時代 17-18世紀	泉屋博古館
54	唐子採蓮図堆朱鼻煙壺	からこさいれんずつしゅびえんこ		清時代 19世紀	泉屋博古館
55	楼閣山水図堆朱鼻煙壺	ろうかくさんすいずつしゅびえんこ		清時代 19世紀	泉屋博古館
56	花鳥文堆朱軸盆	かちょうもんついしゅじくぼん		清時代 17-18世紀	泉屋博古館
57	八吉祥文堆朱如意	はちきっしょうもんついしゅによい		清時代 17-18世紀	泉屋博古館
58	螺鈿扁額「安靖」	らでんへんがく「あんせい」	揮毫：徳大寺実則 とくだいじさねつね	明治時代 19世紀	泉屋博古館
59	秋草蒔絵文台・硯箱	あきくさまきえぶんたい・すずりばこ	迎田秋悦 こうだしゅうえつ	明治～昭和時代 20世紀	泉屋博古館東京
60	高砂蒔絵文台・硯箱	たかさごまきえぶんたい・すずりばこ	象翁(六代 西村彦兵衛) そうおう(ろくだい にしむらひこべえ)	大正10年(1921)	泉屋博古館東京
61	横一行額「安靖」	よこいちぎょうがく「あんせい」	徳大寺実則 とくだいじさねつね	明治時代 19世紀	泉屋博古館

No.	作品名	作品（よみ）	作者名	製作年	所蔵
<b>【第三展示室】終章 うるしと友に 一漆芸品を贈る</b>					
62	老松吹寄時絵炉縁	おいまつぶきよせまきえろぶち	下絵：大谷尊由 おおたにそんゆ	大正14年(1925)	泉屋博古館東京
63	富貴長命図蒔絵硯箱	ふうきちょうめいずまきえすずりばこ	初代 芝川又右衛門 しばかわまたえもん	明治35年(1902)	泉屋博古館
64	独楽塗香合	こまぬりこうごう		大正10年(1921)	泉屋博古館東京
65	青貝壽文字入棗	あおがいことぶきもじいりなつめ	十代 中村宗哲 なかむらそうてつ	大正13年(1924)	泉屋博古館東京
66	雛道具から蒔絵会席膳椀具	ひなどうぐからまきえかいせきぜんわんぐ		大正～昭和時代	20世紀 泉屋博古館
67	紙雛図	かみひなず	竹林愛作 たけばやしあいさく	昭和17年(1942)	泉屋博古館東京

<b>【第三展示室・ホール・第四展示室】受贈記念 伊万里・染付大皿の美</b>					
No.	作品名	作品（よみ）	作者名／裏銘	製作年	所蔵
68	染付唐獅子牡丹文大皿	そめつけからじしぼたんもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
69	染付玉取龍文大皿	そめつけたまとりりゅうもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
70	海士図（玉取図）	あまず（たまとりず）	狩野益信 かのうますのぶ	江戸時代	17世紀 泉屋博古館
71	染付近江八景文大皿	そめつけおうみはっけいもんおおざら	銘：無銘	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
72	染付湯上り美人文大皿	そめつけゆあがりびじんもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
73	湯上り美人図	ゆあがりびじんず	岩崎如水 いわさきじよすい	江戸時代後期	19世紀前半 個人蔵
74	染付鶴丸文輪花形大皿	そめつけつるまるもんりんかたおおざら	銘：無銘	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
75	染付孔雀唐草文大皿	そめつけくじゃくからくさもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
76	染付蝶桜文輪花大皿	そめつけちょうさくらもんりんかたおおざら	銘：乾	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
77	染付松下波兎文大皿	そめつけしょうかなみうさぎもんおおざら	銘：無銘	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
78	染付恵比寿大橋文大皿（独立ケース）	そめつけえびすおおはしもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
79	染付跳鯉大橋文輪花大皿（独立ケース）	そめつけちりゅうおおはしもんりんかたおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
80	染付竹虎文大皿	そめつけたけとらもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
81	染付竹虎文大皿	そめつけたけとらもんおおざら	銘：無銘	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
82	染付芭蕉文大皿	そめつけばしょうもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
83	染付猿に筍文大皿	そめつけさるにたけのこもんおおざら	銘：無銘	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
84	染付双象文大皿	そめつけそうぞうもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
85	染付赤壁賦文大皿	そめつけせきへきふもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
86	赤壁図	せきへきず	中林竹洞 なかばやしちくとう	天保10年(1839)	泉屋博古館
87	染付赤壁賦文大皿	そめつけせきへきふもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
88	染付赤壁賦文輪花大皿	そめつけせきへきふもんりんかたおおざら	銘：大清／乾隆	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
89	染付唐子雪遊文大皿	そめつけからこゆきあそびもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
90	染付酒壺に菊慈童文大皿	そめつけさけつぼにきくじどうもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)
91	染付酒壺に菊慈童文大皿	そめつけさけつぼにきくじどうもんおおざら	銘：天明成化年製	江戸時代後期	19世紀 泉屋博古館東京 (瀬川竹生コレクション)

## 【次回展のお知らせ】

### 企画展 ライトアップ木島櫻谷 — 四季連作大屏風と沁みる「生写し」

大正中期に大阪天王寺の茶臼山に建築された住友家本邸を飾るために描かれた木島櫻谷の「四季連作屏風」を全点公開。

上質な金地にそれぞれ季節の花を趣向を変えて描いた高さ180センチにもなるこの四双の大屏風は、

制作途中で新聞に報じられるほど、当時世間の耳目を集めていました。

大正期の櫻谷は、独特な色感の絵具を用いたり、顔料を厚く盛り上げ、

筆跡を立体的に残し油彩画のような筆触に挑戦しています。

そのために櫻谷は、“技巧派”や、“最後の四条派”などと称されましたが、

櫻谷の真骨頂は、それに収まらない極めて近代的なもので、

古典画題に時代を超越する現代性を与え、リアルな人間的な感情を繰り込んでいます。

絵の中の花鳥動物たちは櫻谷の筆を通して息を吹き返し、生き生きと輝きはじめ、

とりわけ、動物が折節にみせる豊かな表情が観る者の心に沁みます。

江戸時代中期京都で生まれた円山四条派の代表的な画家たちによる花鳥画表現を

併せて紹介することで、櫻谷の「生写し」表現の特質をライトアップします。



木島櫻谷《柳桜図》  
大正6年（1917）泉屋博古館東京

- 会 期 2024年3月16日（土）～5月12日（日）  
休 館 日 月曜日、4/30・5/7（火）（4/29、5/6は開館）  
開館時間 午前11時～午後6時（入館は午後5時30分まで）  
\* 金曜日は午後7時まで開館（入館は午後6時30分まで）  
会 場 泉屋博古館東京（東京・六本木）  
入 館 料 一般1,000円 高大生600円 中学生以下無料  
\* 20名以上は団体割引料金（一般800円、高大生500円）  
\* 障がい者手帳ご呈示の方は無料

最新情報は当館WEBサイトをご覧ください▶▶▶

